

緑化センター みにがいど No.5

道案内をしてくれる？ キセキレイ

キセキレイは人や車の行く先を少しづつ移動しながらカゲロウやユスリカなどの餌を探することもあって、あたかも道案内をしてくれるように思える面白い野鳥です。



緑化センターでは毎年キセキレイが本館の屋根や緑の相談所などのすき間を利用して繁殖しています。積雪期以外は水流の近くに棲みついて、進入路近くの水際と道路の間を行き来しながら小昆虫を食べているようです。雛鳥が巣立ったあと、しばらくは家族(5~6羽)で一緒に行動しています。

プロポーションの良さと黄と黒という配色の美しさで、よく日本画のポイントなどに置かれて渓谷の情景をひきたてている鳥です。

キセキレイ セキレイ科

体長約 20cmの小鳥だが、長い尾羽をせわしく振りながら、足を交互に出して歩くことが多いのでよく視界に入る野鳥の 1 種。スマートな体型に、下面は黄色で白い肩斑が目立つ。夏の雄はのどの下が三角形に黒くなる。雌では白色に近いものから黒に近いものまで変化が見られる。(冬期には雄ののども白くなるので注意が必要。)

4月から6月にかけて繁殖する。岩壁や屋根の隙間、人工的な巣箱など人里の近くでよく営巣している。

さえずりを聞くことは少ないが、普段「チチン チチン」と高い声で鳴きながら餌を捕ったりする。飛び立つ時や大きな波形で飛びながらもよく鳴くので見失うことは少ない。春から夏にかけて溪流に沿って森林の中まで移動するが、秋から冬にかけては中流から河口近くまで広く漂行しながら小昆虫を中心に採食している。川に近い所では民家の屋根や庭先まで近づく。

文と写真 吉見良一氏 01.3.18 撮影

コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス